

平成 28 年第 3 四半期景況調査報告

平成 28 年 10 月

平成28年第3四半期景況調査報告

・調査概要

(1) 調査期間	平成28年10月 日 () から平成28年10月 日 ()
(2) 調査方法	FAXによるアンケート調査
(3) 調査対象	市内172事業所(当所役員議員及びモニター事務所)
(4) 回収率	41.9%(72/172)
(5) 調査項目	平成28年7月～9月の業況・売上などの状況判断

・産業別判断指数

(1) 第3四半期(7月～9月期)の実績(水準)

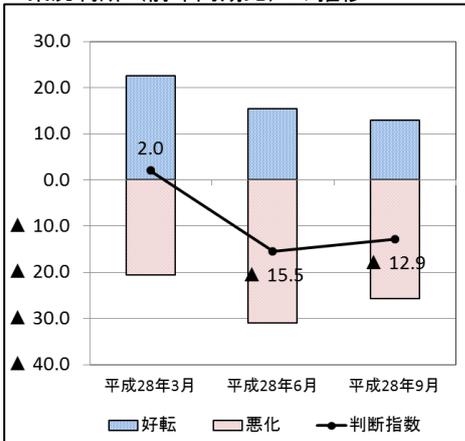
	業況 (良い割合—悪い割合)	売上 (好調割合—低調割合)	採算 (黒字割合—赤字割合)	資金繰り (余裕割合—苦しい割合)	仕入れ価格 (低い割合—高い割合)	受注(客)単価 (高い割合—低い割合)	従業員 (過剰割合—不足割合)
全産業	▲5.0	▲16.9	26.8	▲1.4	▲9.0	▲29.4	▲35.2
製造業	0.0	▲10.7	57.1	17.9	0.0	▲35.7	▲25.0
建設業	4.5	▲18.2	36.4	0.0	▲27.3	▲36.4	▲54.5
卸・小売業	▲50.0	▲62.5	▲37.5	▲62.5	▲12.5	▲37.5	▲50.0
サービス業	0.0	▲8.3	8.3	▲4.2	▲10.0	▲14.3	▲33.3

(2) 第3四半期(7月～9月期)の前年同期比

	業況 (好転割合—悪化割合)	売上 (増加割合—減少割合)	採算 (好転割合—悪化割合)	資金繰り (好転割合—悪化割合)	仕入れ価格 (下落割合—上昇割合)	受注(客)単価 (上昇割合—下落割合)	
全産業	▲12.9	▲4.3	▲5.8	▲7.1	▲12.1	▲21.2	30を超える
製造業	▲7.1	10.7	3.7	7.1	3.6	▲21.4	10～30
建設業	▲9.1	0.0	18.2	0.0	▲36.4	▲20.0	▲10超 ～10未満
卸・小売業	▲71.4	▲71.4	▲42.9	▲57.1	▲42.9	▲42.9	▲30～▲10
サービス業	▲4.2	▲4.2	▲16.7	▲12.5	▲10.0	▲14.3	▲30下回る

※(1)実績(水準)は調査時における市内の景気水準を(2)前年同期比は前年同期からの変化を示す。
 ※上記の指数は、業況・売上・採算など各項目についての状況の判断を示す。プラス(「好転」超など)であれば、景気が良い水準(上向き傾向)を表す回答割合が多いことを示し、マイナス(「悪化」超など)であれば、景気が悪い水準(下向き傾向)を表す回答割合が多いことを示す。
 ※実績(水準)の業況のみ5段階(良い、やや良い、どちらともいえない、やや悪い、悪い)で評価(他は3段階評価)。

・業況判断(前年同期比)の推移

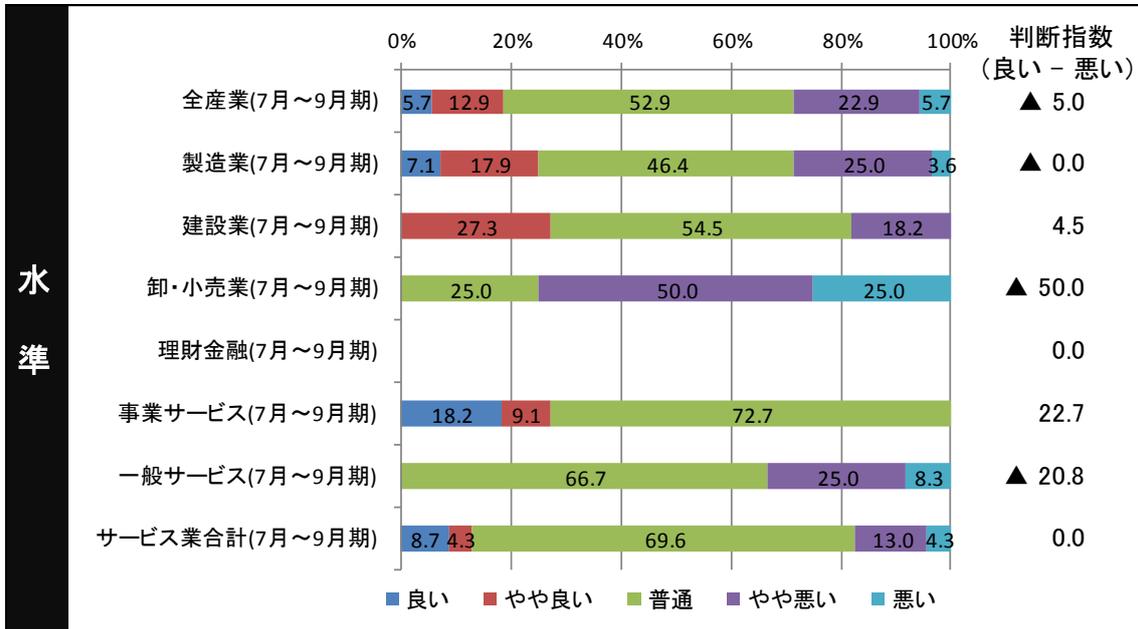


・調査結果のポイント

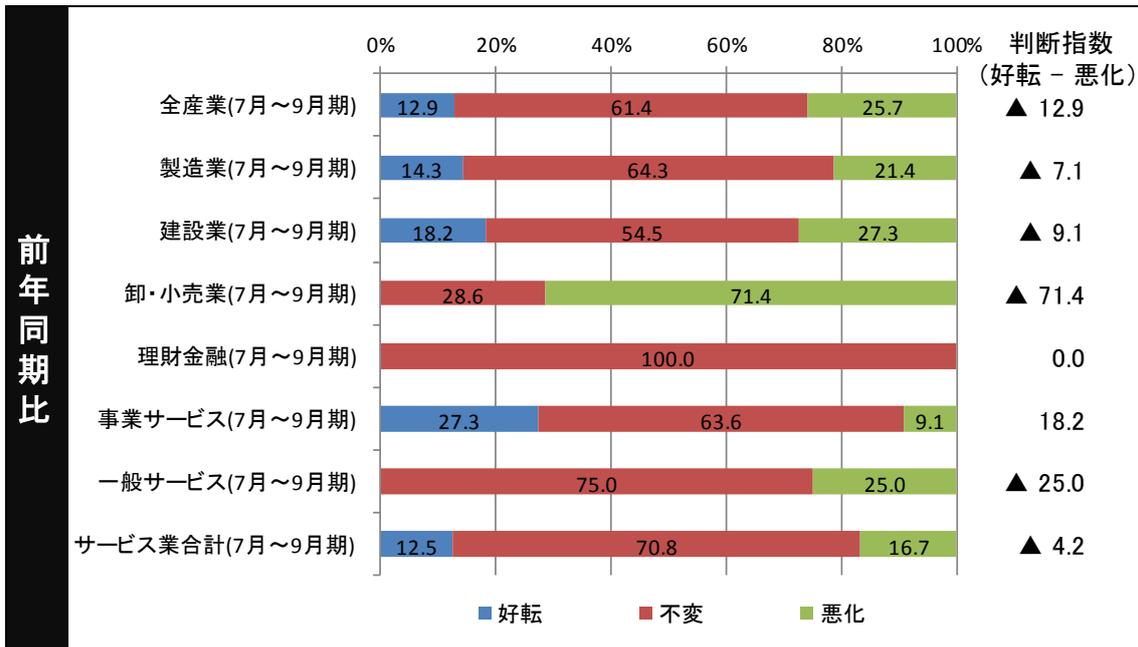
市内企業の業況判断指数は、7月～9月期の実績(水準)は、全産業で▲5.0と前回調査(4月～6月期)の▲11.0から上昇するもマイナス圏に留まった。業種別でみると、プラス圏は建設業のみ、卸・小売業が▲50.0と特に低調。項目別では受注(客)単価、従業員判断が全産業で大きくマイナスとなっている。

前年同期からの変化をみると、全産業で▲12.9と前回調査の▲15.5から「悪化」超幅が縮小するも、全業種がマイナスとなるなど足踏み状態が続いている。卸・小売業で▲71.4と消費低迷の影響がより顕著に表れており、他業種に比べ厳しい状況であることがうかがえる。

【業況についての判断】

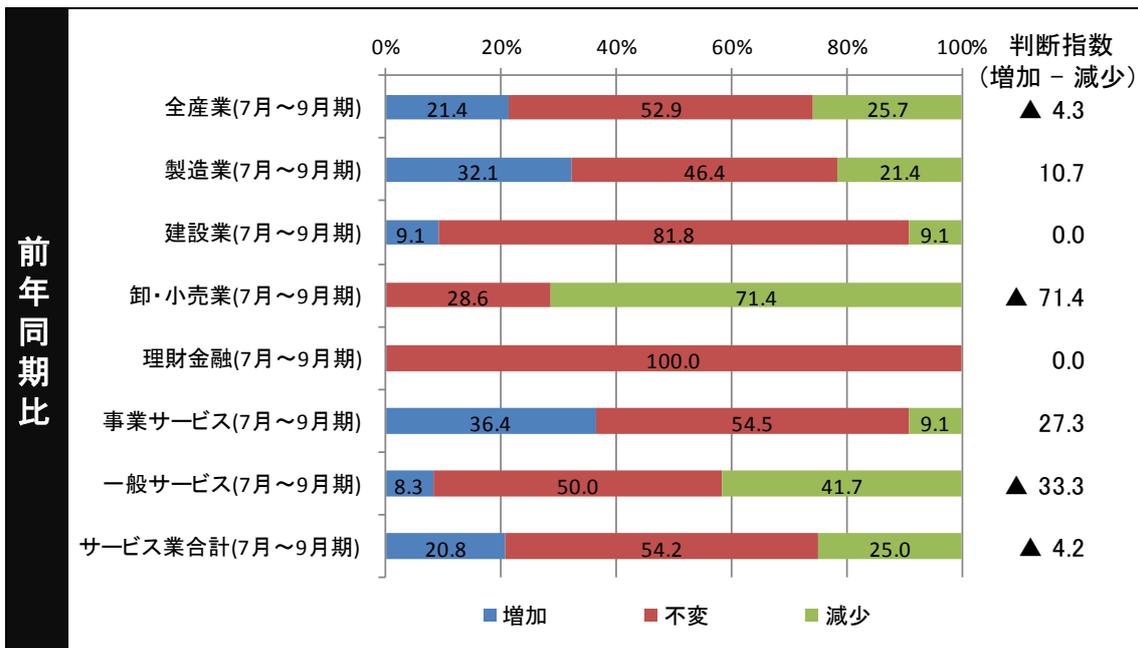
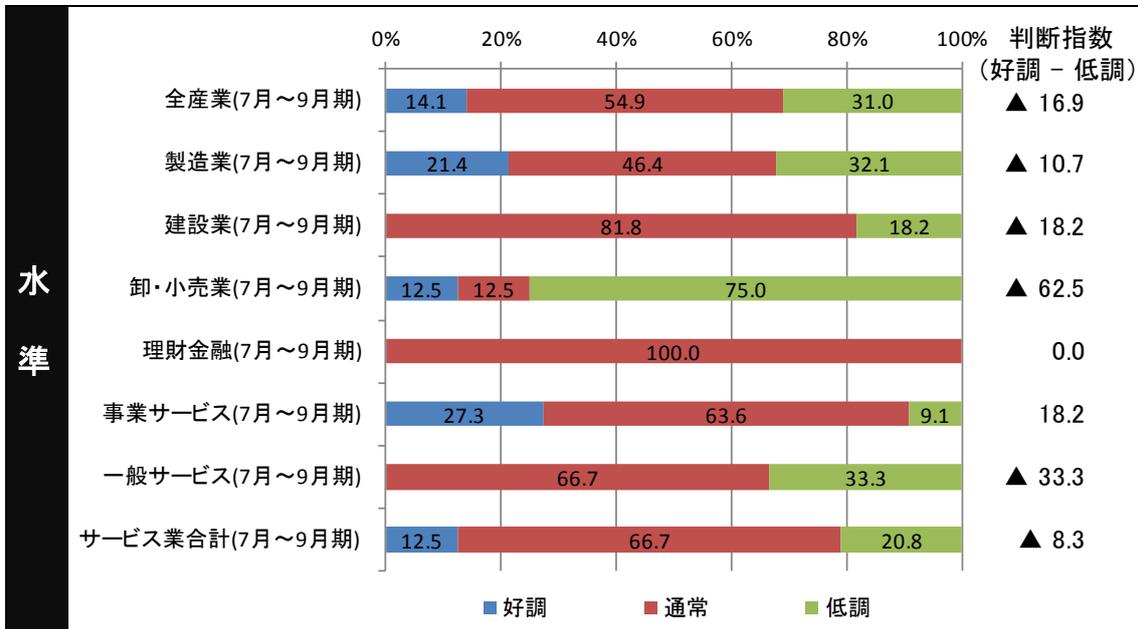


※業況水準の判断指数＝「良い」割合＋「やや良い」割合×0.5－「やや悪い」割合×0.5－「悪い」割合



- ・7月～9月期の全産業合計の業況水準の判断指数は▲5.0と前回調査(4月～6月期)の▲11.0からやや改善するも「悪い」超に留まった。業種別に見ると建設業、事業サービス業で「良い」超である一方、卸・小売業、一般サービス業で「悪い」超となっている。
- ・7月～9月期の前年同期比をみると、全産業合計で▲12.9と「悪化」超。業種別に見ると、事業サービス業が「好転」超となる一方、製造業、建設業、卸・小売業、一般サービスが「悪化」超となった。特に個人消費低迷の受けやすい卸・小売業、一般サービス業での低迷が目立つ。

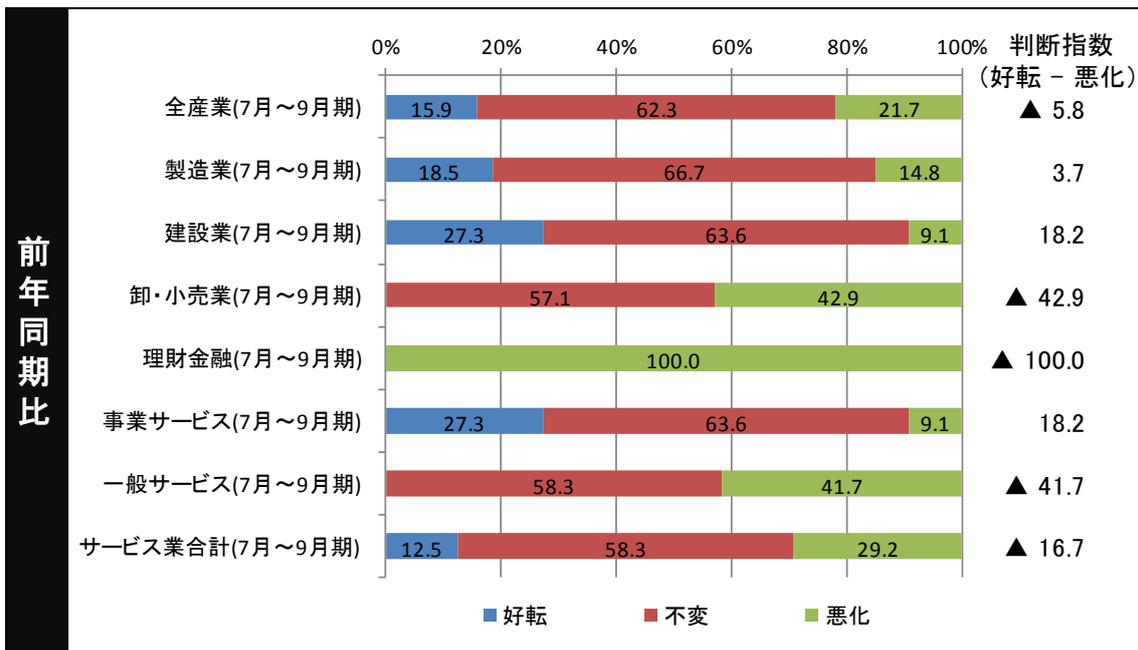
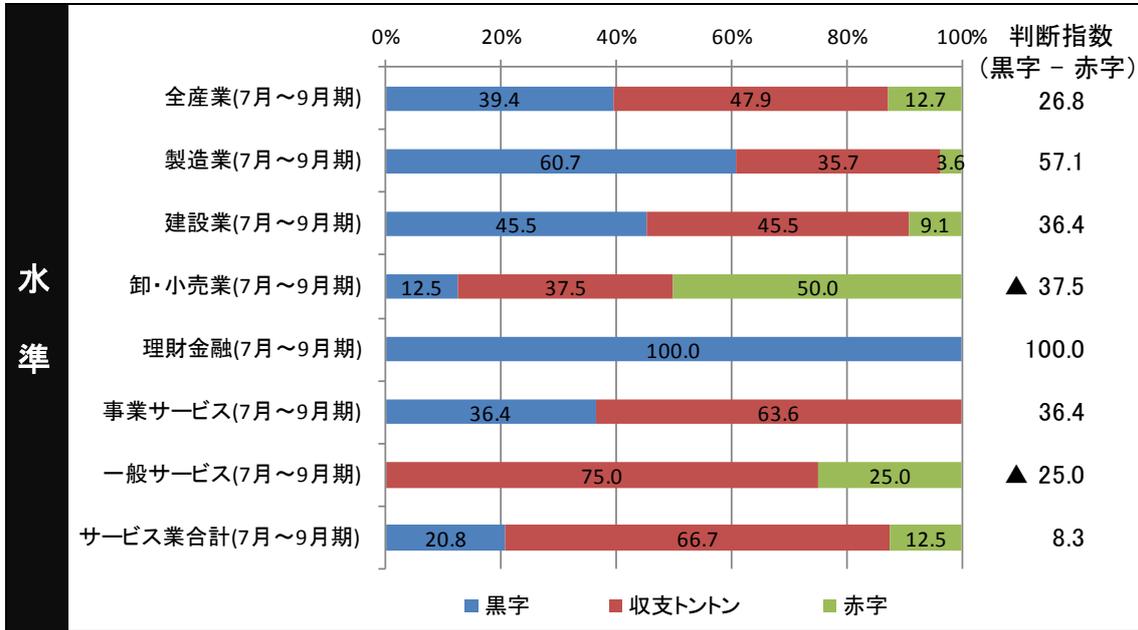
【売上状況についての判断】



・7月～9月期の全産業合計の売上水準の判断指数は▲16.9と前回調査(4月～6月期)の▲25.6から上昇したものの、依然として「低調」超。業種別に見ると、製造業、建設業、卸・小売業、一般サービス業が「低調」超となっており、特に卸・小売業の▲62.5が目立つ。

・7月～9月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲4.3と「減少」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業が「増加」超と前年からの良化となる一方で、卸・小売業、一般サービス業では特に「減少」回答が多く、前年に比べ弱い動きがみられ消費低迷の影響がでている。

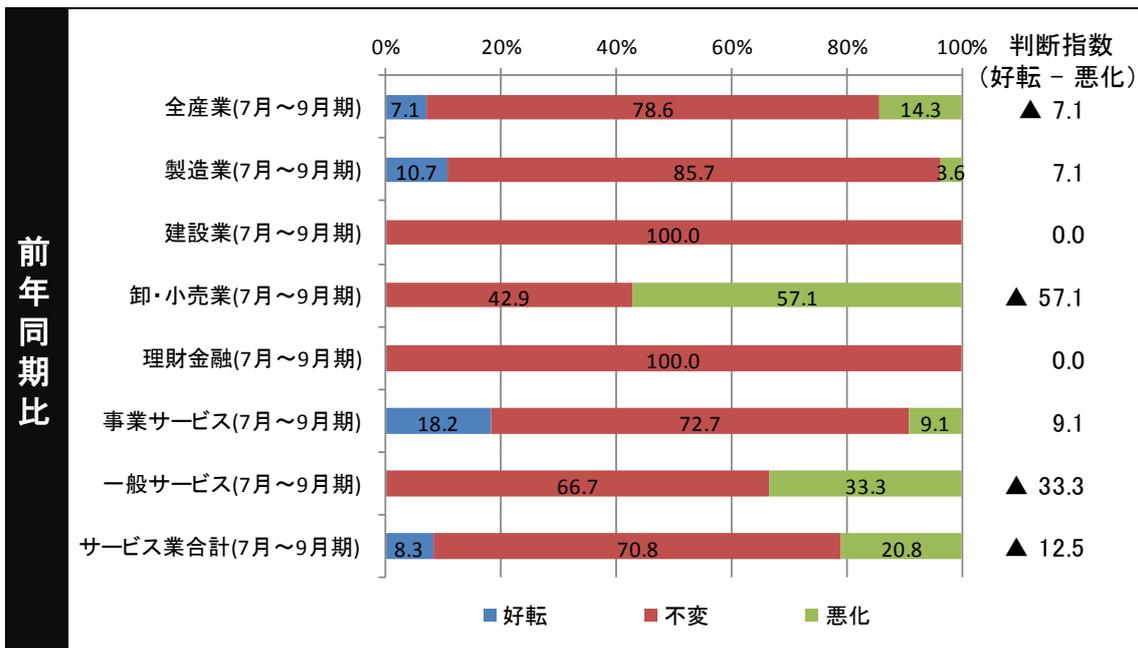
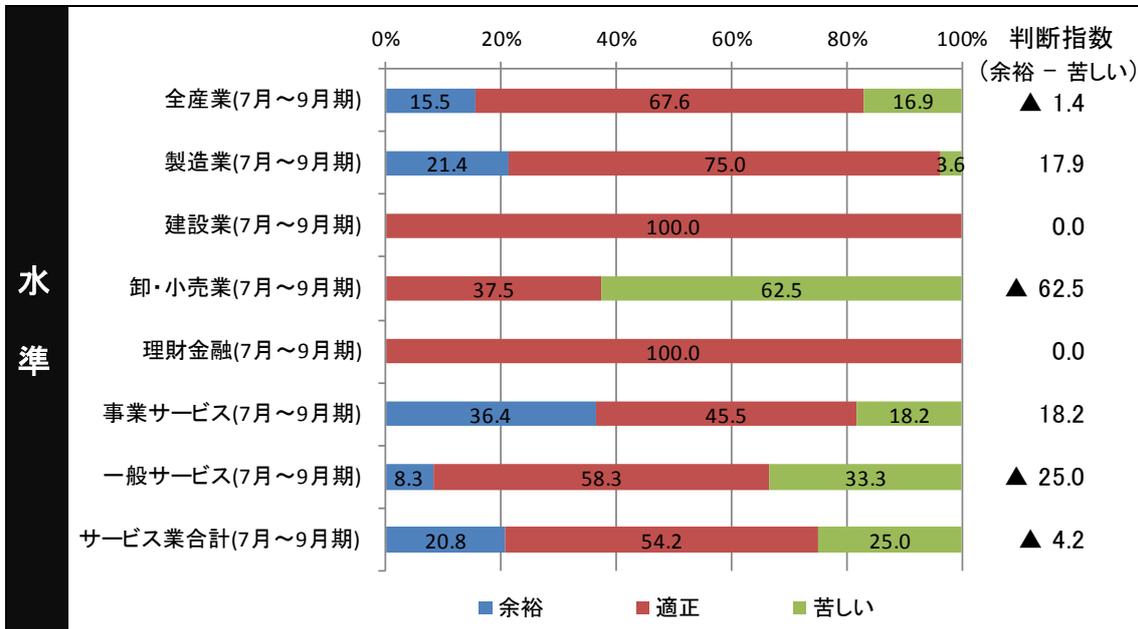
【採算の状況についての判断】



・7月～9月期の全産業合計の採算水準の判断指数は26.8と前回調査(4月～6月期)の34.9から「黒字」超が低下。業種別に見ると、卸・小売業で「赤字」割合が増加、一般サービス業が「赤字」超に転じている。

・7月～9月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲5.8と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、建設業、事業サービス業で「好転」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業などで「悪化」超となった。卸・小売業・一般サービス業は前年同月からの「悪化」回答が多く、水準も「赤字」超となっており厳しい状況がうかがえる。

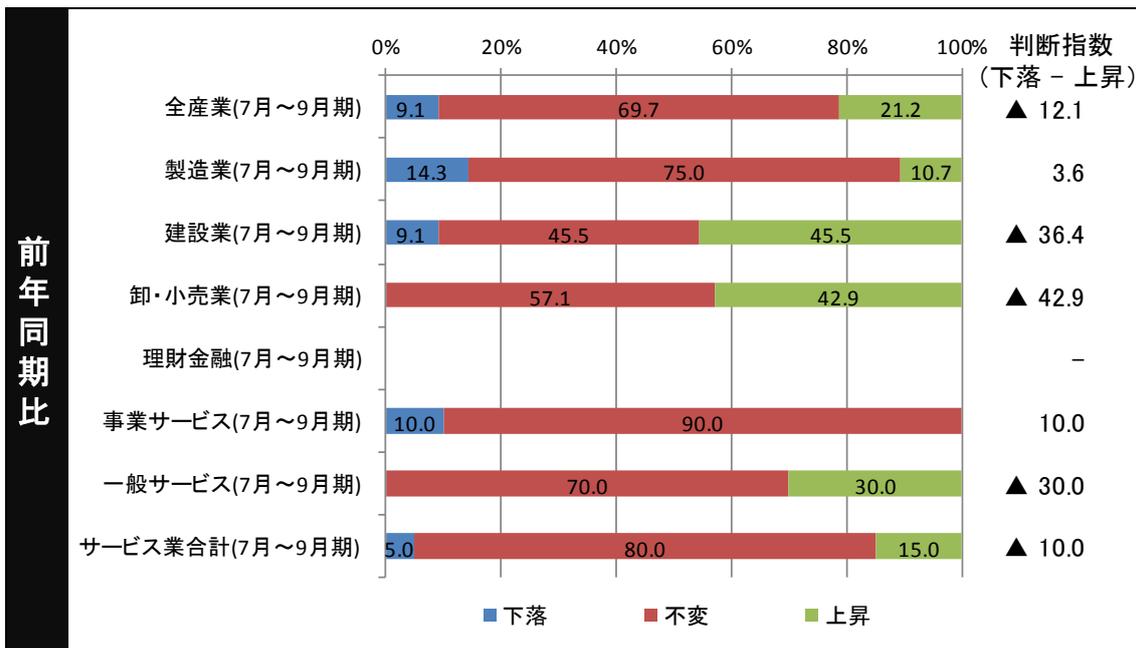
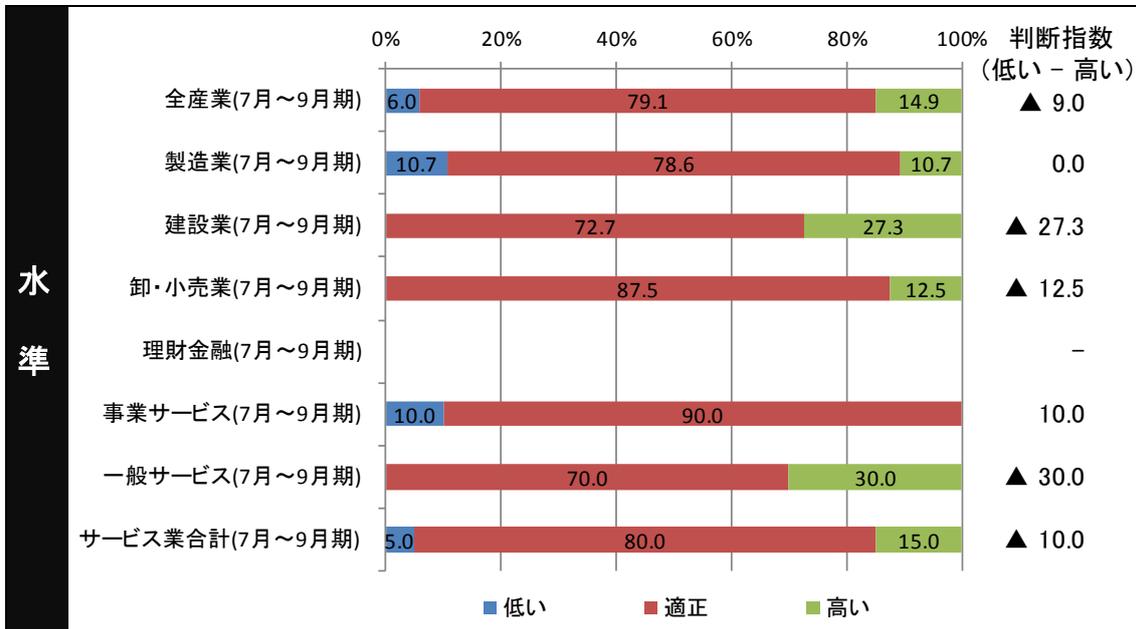
【資金繰りの状況についての判断】



・7月～9月期の全産業合計の資金繰り水準の判断指数は、▲1.4と前回調査(4月～6月期)の0.0から低下した。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「余裕」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業で「苦しい」超となっている。特に卸・小売業は▲62.5とマイナス幅が大きい。

・7月～9月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲7.1と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「好転」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業では「悪化」超となった。

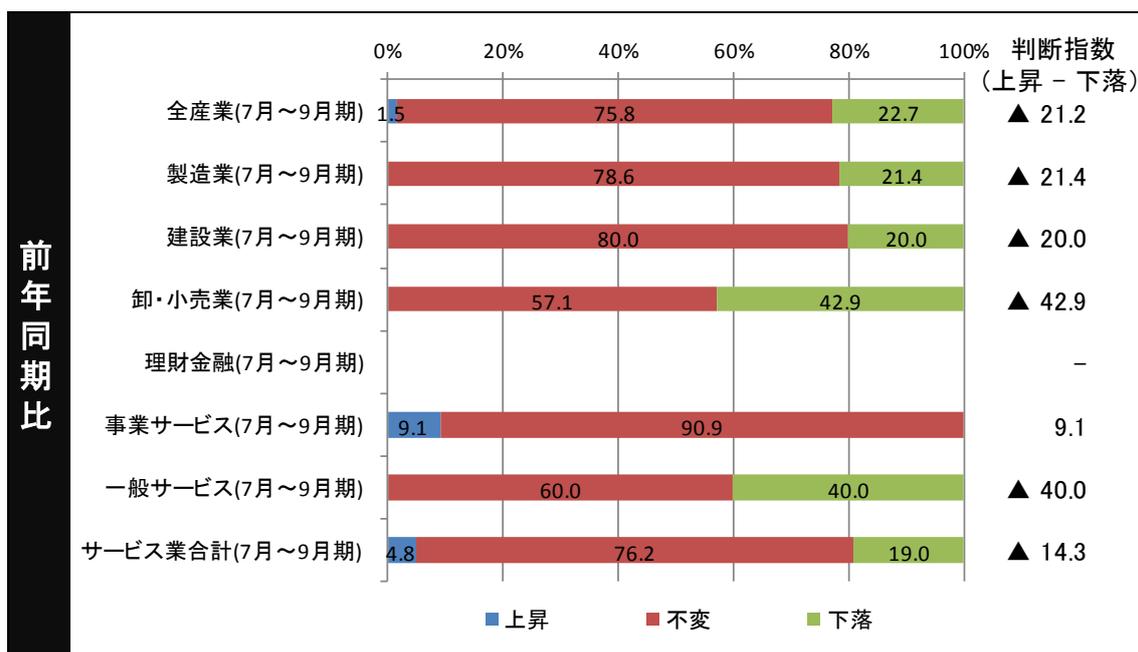
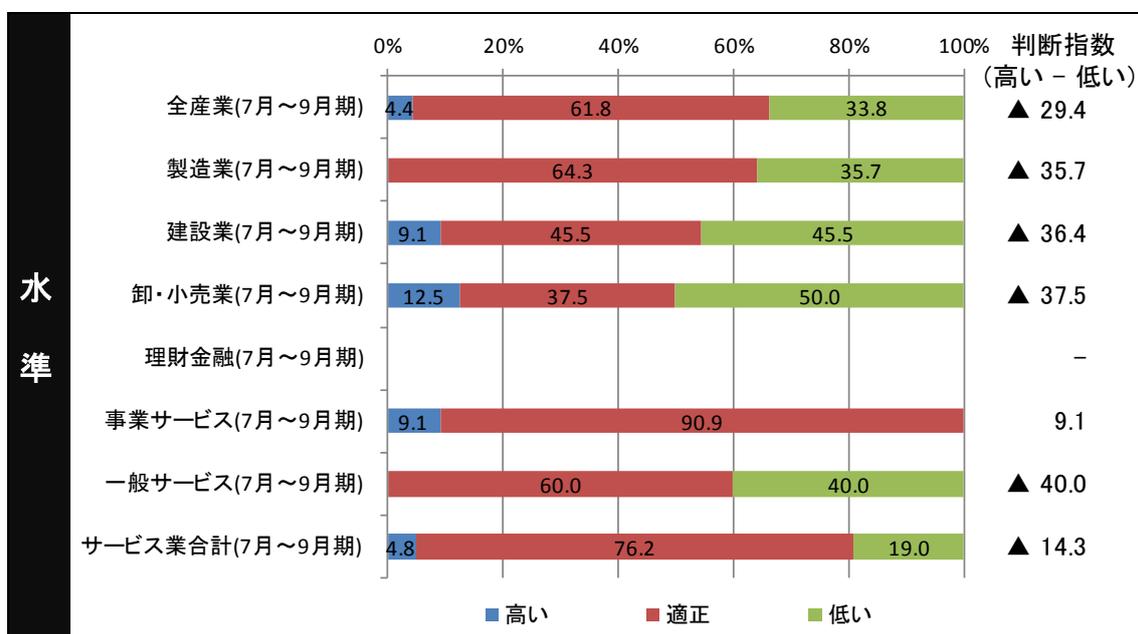
【仕入れ価格の状況についての判断】



・7月～9月期の全産業合計の仕入れ価格水準の判断指数は▲9.0と前回調査(4月～6月期)の▲8.2から低下した。業種別に見ると、建設業、卸・小売業での「高い」の回答割合が大きい。その他の業種については7割超が適正水準であると回答している。

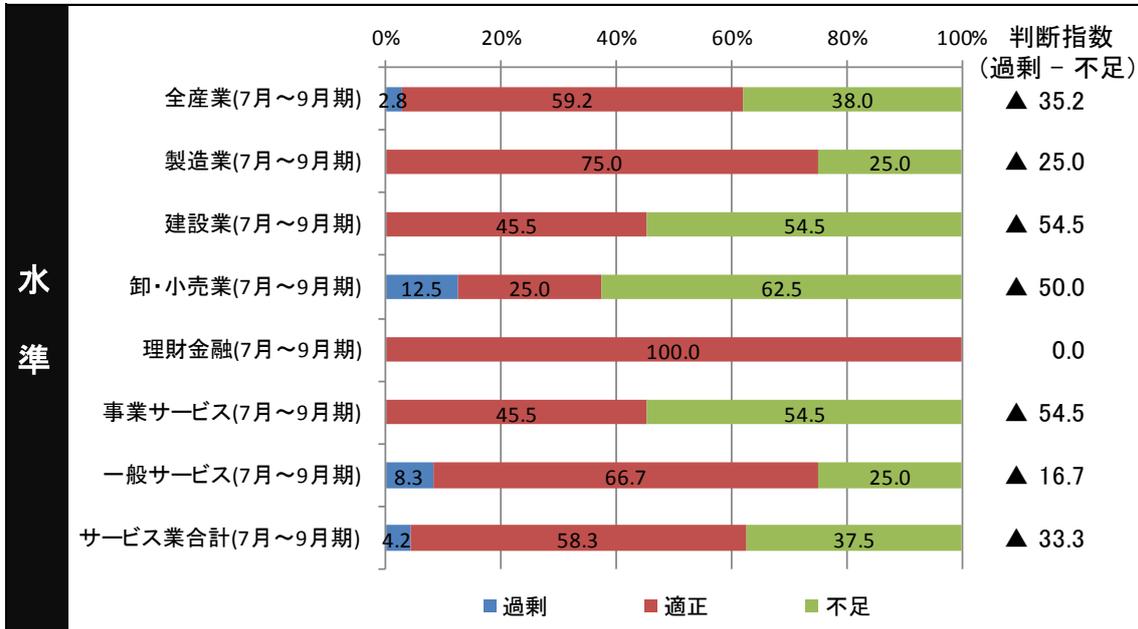
・7月～9月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲12.1と「上昇」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「下落」超となる一方、建設業、卸・小売業、一般サービス業では「上昇」超となった。

【受注(客)単価の状況についての判断】



- ・7月～9月期の全産業合計の受注(客)単価水準の判断指数は▲29.4と前回調査(4月～6月期)の▲31.4から上昇。「高い」の回答割合は非常に少なく、業種別に見ると、理財金融、事業サービス以外の業種で大きく「低い」超となった。
- ・7月～9月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲21.2と「下落」超。業種別に見ると、理財金融、事業サービスを除く全業種で「下落」超となっており、受注(客)単価は低水準にある中、下落しているものとみられる。

【従業員の状況についての判断】



・7月～9月期の従業員過不足水準の判断指数は▲35.2と前回調査(4月～6月期)の▲27.9からさらに「不足」回答割合が多くなった。業種別に見ると、理財金融を除くすべての業種で「不足」超となっている。建設業、事業サービスで前回調査に引き続き「不足」超が大きいなか、卸・小売業が前回調査(4月～6月期)の▲9.1から▲50.0と大きく低下。従業員の不足感が多くの業種に広がっている。

【設備投資】

期間中の設備投資については、31.4%が「実施した」と回答。業種別の実施割合を見ると、最も高かったのは製造業で57.1%の事業所で設備投資を実施している。

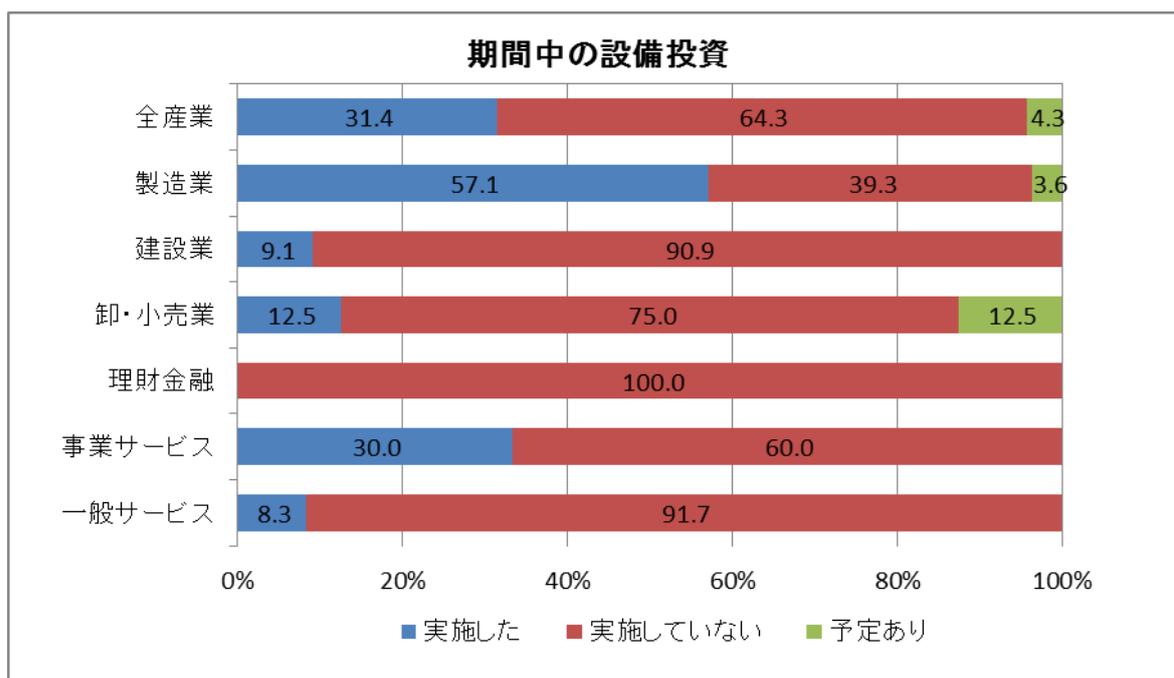
設備投資の目的としては「補修・更新」が10件で最も多く、次いで「生産能力拡大・売上増」(7件)となった。

問2-①期間中に設備投資は実施しましたか。

期間中の設備投資	件数
実施した	22
実施していない	45
予定あり	3
無回答	2
計	72

7月～9月期の間中の設備投資の実施(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	期間中の設備投資			
		合計	実施した	実施していない	予定あり
業種	全産業	70 100.0	22 31.4	45 64.3	3 4.3
	製造業	28 100.0	16 57.1	11 39.3	1 3.6
	建設業	11 100.0	1 9.1	10 90.9	-
	卸・小売業	8 100.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5
	理財金融	1 100.0	-	1 100.0	-
	事業サービス	10 100.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0
	一般サービス	12 100.0	1 8.3	11 91.7	-



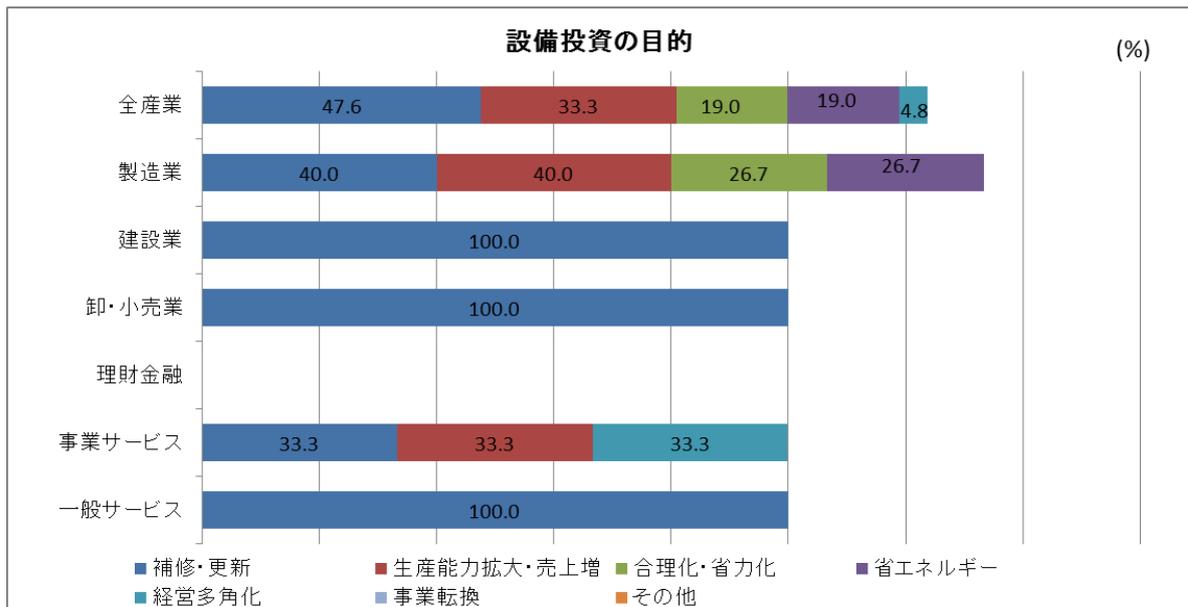
問2-②. 設備投資の目的

(複数回答)

設備投資の目的	件数
補修・更新	10
生産能力拡大・売上増	7
合理化・省力化	4
省エネルギー	4
事業転換	1
経営多角化	0
その他	0
無回答	1

設備投資の目的(業種別)

上段:件数 下段:%		設備投資の目的							
		合計	補修・更新	生産能力拡大・売上増	合理化・省力化	省エネルギー	事業転換	経営多角化	その他
業種	全産業	21 100.0	10 47.6	7 33.3	4 19.0	4 19.0	1 4.8	-	-
	製造業	15 100.0	6 40.0	6 40.0	4 26.7	4 26.7	-	-	-
	建設業	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	卸・小売業	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	理財金融	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-
	一般サービス	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-



【マイナス金利と金融機関】

マイナス金利政策導入後における取引金融機関の貸出し姿勢については、およそ半数が「以前と変わらない」と回答する中、3割強が「積極化している」と回答。

「積極化している具体的な内容」については、「融資の増額（新規融資を含む）」が16件（80.0%）と最も多かった。

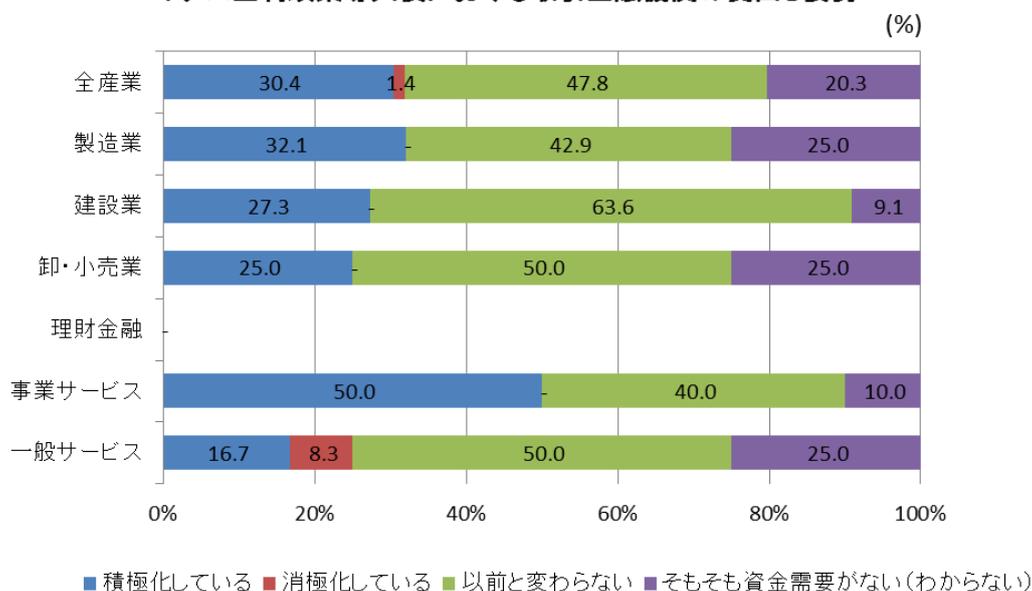
問3-①マイナス金利政策導入後における取引金融機関の貸出し姿勢

取引金融機関の貸出し姿勢	件数
積極化している	21
消極化している	1
以前と変わらない	33
そもそも資金需要がない(わからない)	14
無回答	3
計	72

マイナス金利政策導入後における取引金融機関の貸出し姿勢(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	問3-①マイナス金利政策導入後における取引金融機関の貸出し姿勢				
		合計	積極化している	消極化している	以前と変わらない	そもそも資金需要がない(わからない)
業種	全産業	69 100.0	21 30.4	1 1.4	33 47.8	14 20.3
	製造業	28 100.0	9 32.1	-	12 42.9	7 25.0
	建設業	11 100.0	3 27.3	-	7 63.6	1 9.1
	卸・小売業	8 100.0	2 25.0	-	4 50.0	2 25.0
	理財金融	-	-	-	-	-
	事業サービス	10 100.0	5 50.0	-	4 40.0	1 10.0
	一般サービス	12 100.0	2 16.7	1 8.3	6 50.0	3 25.0

マイナス金利政策導入後における取引金融機関の貸出し姿勢



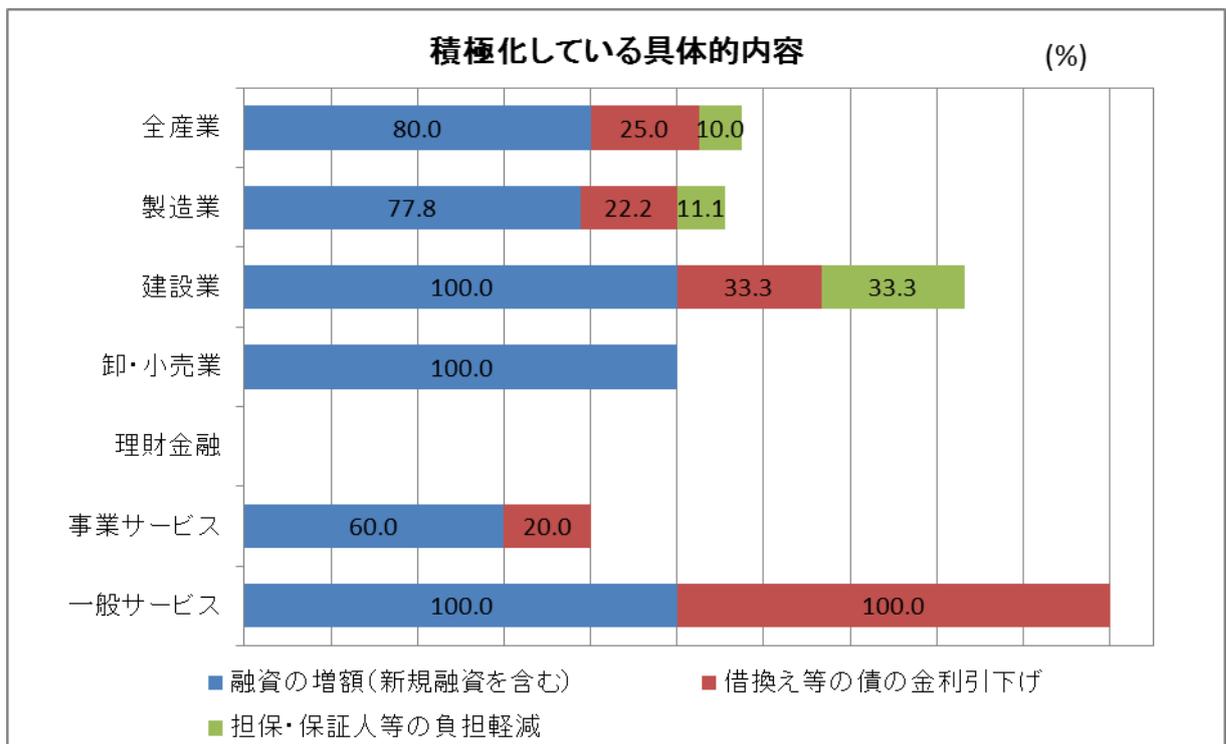
問3-②積極化している具体的な内容

(複数回答)

積極化している具体的な内容	件数
融資の増額(新規融資を含む)	16
借換え等の債の金利引下げ	5
担保・保証人等の負担軽減	2
その他	2
無回答	1
計	21

積極化している具体的な内容(業種別)

上段:件数 下段:%		問3-②積極化している具体的な内容				
		合計	融資の増額(新規融資を含む)	借換え等の債の金利引下げ	担保・保証人等の負担軽減	その他
業種	全産業	20 100.0	16 80.0	5 25.0	2 10.0	2 10.0
	製造業	9 100.0	7 77.8	2 22.2	1 11.1	1 11.1
	建設業	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-
	卸・小売業	2 100.0	2 100.0	-	-	-
	理財金融	-	-	-	-	-
	事業サービス	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0
	一般サービス	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-



【新たな取り組み】

新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み についての「予定がある」の回答が 19 件 (28.4%)、「興味がある」の回答が 14 件(20.9%)となった

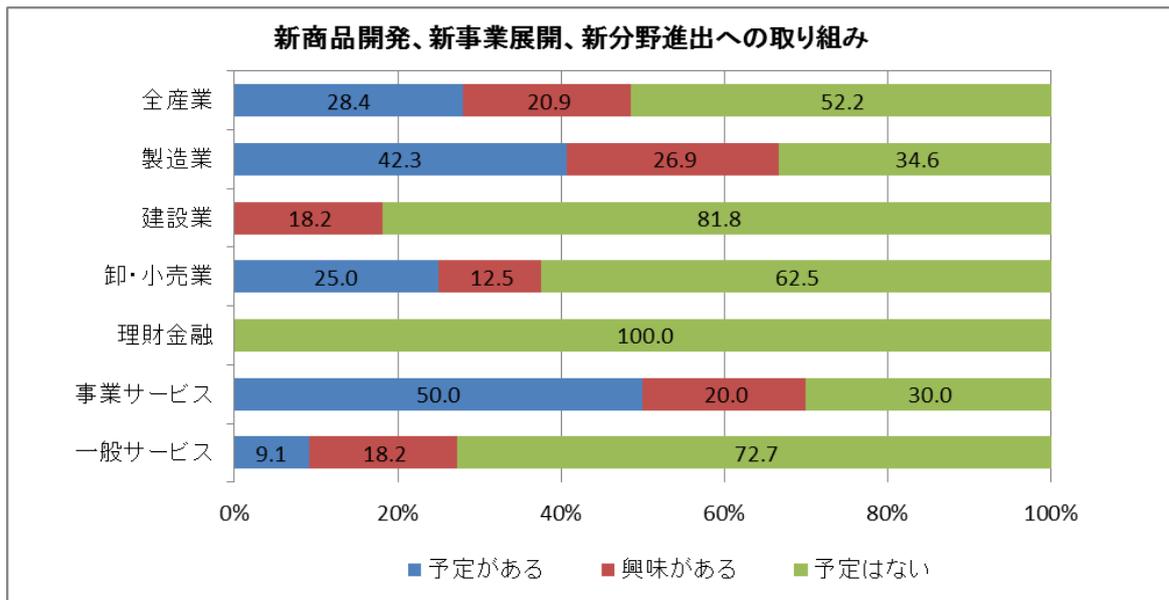
予定内容は、「新商品開発」が 11 件、興味内容は「新事業展開」が 9 件と最も多かった。

問4-①. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み (複数回答)

新たな取組み	件数
予定がある	19
興味がある	14
予定はない	35
無回答	5
計	72

新たな取り組み(業種別)

上段:度数 下段:%		問4. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み			
		合計	予定がある	興味がある	予定はない
業種	全体	67 100.0	19 28.4	14 20.9	35 52.2
	製造業	26 100.0	11 42.3	7 26.9	9 34.6
	建設業	11 100.0	- -	2 18.2	9 81.8
	卸・小売業	8 100.0	2 25.0	1 12.5	5 62.5
	理財金融	1 100.0	- -	- -	1 100.0
	事業サービス	10 100.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0
	一般サービス	11 100.0	1 9.1	2 18.2	8 72.7



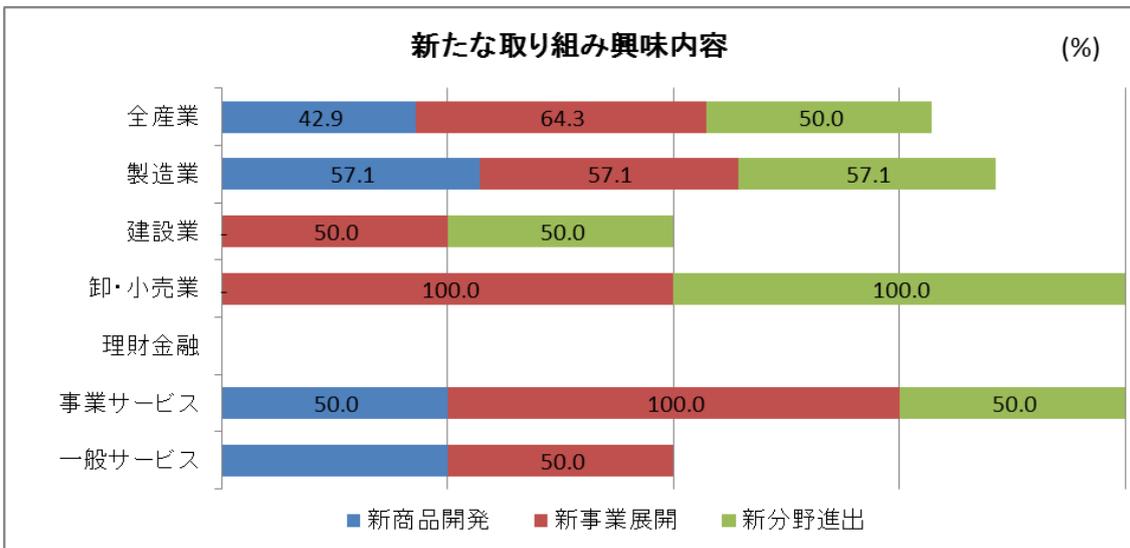
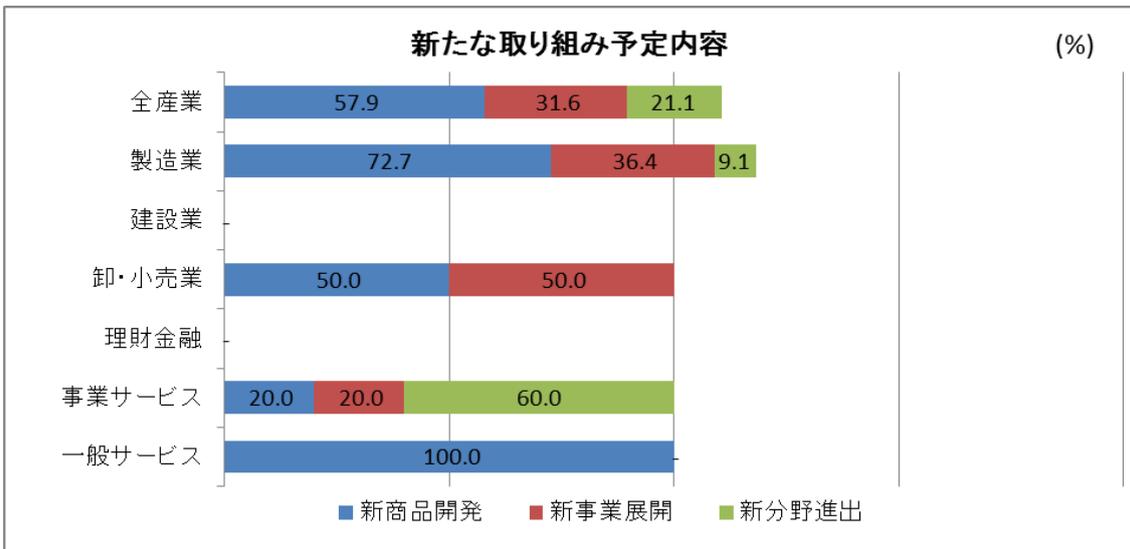
問4-②. 予定・興味の内容

(複数回答)

内容	予定あり件数	興味あり件数
新商品開発	11	6
新事業展開	6	9
新分野進出	4	7

予定・興味の内容(業種別)

上段:件数 下段:%	問4-1. 予定内容				興味内容			
	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出
全体	19 100.0	11 57.9	6 31.6	4 21.1	14 100.0	6 42.9	9 64.3	7 50.0
製造業	11 100.0	8 72.7	4 36.4	1 9.1	7 100.0	4 57.1	4 57.1	4 57.1
建設業	-	-	-	-	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0
卸・小売業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0
理財金融	-	-	-	-	-	-	-	-
事業サービス	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0
一般サービス	1 100.0	1 100.0	-	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-



【経営課題】

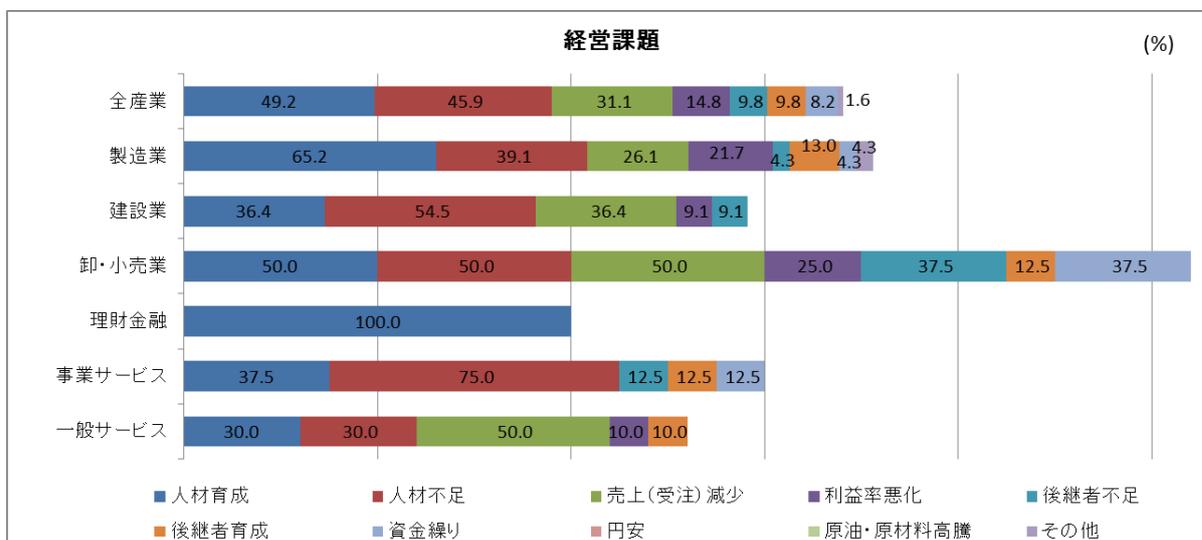
「人材育成」が49.2%と最も高く、「人材不足」(45.9%)、「売上(受注)減少」(31.1%)と続いている。「人材育成」は特に製造業で、「人材不足」は全産業で大きな課題となっている。

問5. 現在お悩みの経営課題について (複数回答)

経営課題	件数
人材育成	30
人材不足	28
売上(受注)減少	19
利益率悪化	9
後継者不足	6
後継者育成	6
資金繰り	5
その他	1
無回答	11

経営課題 (業種別)

業種	上段:件数 下段:%	経営課題										
		合計	人材育成	人材不足	売上(受注)減少	利益率悪化	後継者不足	後継者育成	資金繰り	円安	原油・原材料高騰	その他
全産業	61 100.0	30	28	19	9	6	6	5	-	-	1	
製造業	23 100.0	15	9	6	5	1	3	1	-	-	1	
建設業	11 100.0	4	6	4	1	1	-	-	-	-	-	
卸・小売業	8 100.0	4	4	4	2	3	1	3	-	-	-	
理財金融	1 100.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
事業サービス	8 100.0	3	6	-	-	1	1	1	-	-	-	
一般サービス	10 100.0	3	3	5	1	-	1	-	-	-	-	



景況調査データ

単位：件

		7月～9月期水準							7月～9月期前年同月比					
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価
全産業	良い・好転	4	10	28	11	4	3	2	9	15	11	5	6	1
	やや良い	9												
	普通・不変	37	39	34	48	53	42	42	43	37	43	55	46	50
	やや悪い	16												
	悪い・悪化 合計	4	22	9	12	10	23	27	18	18	15	10	14	15
製造業	良い・好転	2	6	17	6	3	0	0	4	9	5	3	4	0
	やや良い	5												
	普通・不変	13	13	10	21	22	18	21	18	13	18	24	21	22
	やや悪い	7												
	悪い・悪化 合計	1	9	1	1	3	10	7	6	6	4	1	3	6
建設業	良い・好転	0	0	5	0	0	1	0	2	1	3	0	1	0
	やや良い	3												
	普通・不変	6	9	5	11	8	5	5	6	9	7	11	5	8
	やや悪い	2												
	悪い・悪化 合計	0	2	1	0	3	5	6	3	1	1	0	5	2
卸・小売業	良い・好転	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	やや良い	0												
	普通・不変	2	1	3	3	7	3	2	2	2	4	3	4	4
	やや悪い	4												
	悪い・悪化 合計	2	6	4	5	1	4	5	5	5	3	4	3	3
理財金融	良い・好転	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やや良い	0												
	普通・不変	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
	やや悪い	0												
	悪い・悪化 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
事業サービス	良い・好転	2	3	4	4	1	1	0	3	4	3	2	1	1
	やや良い	1												
	普通・不変	8	7	7	5	9	10	5	7	6	7	8	9	10
	やや悪い	0												
	悪い・悪化 合計	0	1	0	2	0	0	6	1	1	1	1	0	0
一般サービス	良い・好転	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	やや良い	0												
	普通・不変	8	8	9	7	7	6	8	9	6	7	8	7	6
	やや悪い	3												
	悪い・悪化 合計	1	4	3	4	3	4	3	3	5	5	4	3	4
サービス業合計	良い・好転	2	3	5	5	1	1	1	3	5	3	2	1	1
	やや良い	1												
	普通・不変	16	16	16	13	16	16	14	17	13	14	17	16	16
	やや悪い	3												
	悪い・悪化 合計	1	5	3	6	3	4	9	4	6	7	5	3	4
合計	23	24	24	24	20	21	24	24	24	24	24	20	21	

単位：%、判断指数はポイント

		7月～9月期水準							7月～9月期前年同月比					
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価
全産業	良い・好転	5.7	14.1	39.4	15.5	6.0	4.4	2.8	12.9	21.4	15.9	7.1	9.1	1.5
	やや良い	12.9												
	普通・不変	52.9	54.9	47.9	67.6	79.1	61.8	59.2	61.4	52.9	62.3	78.6	69.7	75.8
	やや悪い	22.9												
	悪い・悪化	5.7	31.0	12.7	16.9	14.9	33.8	38.0	25.7	25.7	21.7	14.3	21.2	22.7
	判断指数	▲ 5.0	▲ 16.9	26.8	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 29.4	▲ 35.2	▲ 12.9	▲ 4.3	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 12.1	▲ 21.2
製造業	良い・好転	7.1	21.4	60.7	21.4	10.7	0.0	0.0	14.3	32.1	18.5	10.7	14.3	0.0
	やや良い	17.9												
	普通・不変	46.4	46.4	35.7	75.0	78.6	64.3	75.0	64.3	46.4	66.7	85.7	75.0	78.6
	やや悪い	25.0												
	悪い・悪化	3.6	32.1	3.6	3.6	10.7	35.7	25.0	21.4	21.4	14.8	3.6	10.7	21.4
	判断指数	▲ 0.0	▲ 10.7	57.1	17.9	0.0	▲ 35.7	▲ 25.0	▲ 7.1	10.7	3.7	7.1	3.6	▲ 21.4
建設業	良い・好転	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0
	やや良い	27.3												
	普通・不変	54.5	81.8	45.5	100.0	72.7	45.5	45.5	54.5	81.8	63.6	100.0	45.5	80.0
	やや悪い	18.2												
	悪い・悪化	0.0	18.2	9.1	0.0	27.3	45.5	54.5	27.3	9.1	9.1	0.0	45.5	20.0
	判断指数	4.5	▲ 18.2	36.4	0.0	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 54.5	▲ 9.1	0.0	18.2	0.0	▲ 36.4	▲ 20.0
卸・小売業	良い・好転	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや良い	0.0												
	普通・不変	25.0	12.5	37.5	37.5	87.5	37.5	25.0	28.6	28.6	57.1	42.9	57.1	57.1
	やや悪い	50.0												
	悪い・悪化	25.0	75.0	50.0	62.5	12.5	50.0	62.5	71.4	71.4	42.9	57.1	42.9	42.9
	判断指数	▲ 50.0	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 71.4	▲ 71.4	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 42.9	▲ 42.9
理財金融	良い・好転	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや良い	0.0												
	普通・不変	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	やや悪い	0.0												
	悪い・悪化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	判断指数	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0
事業サービス	良い・好転	18.2	27.3	36.4	36.4	10.0	9.1	0.0	27.3	36.4	27.3	18.2	10.0	9.1
	やや良い	9.1												
	普通・不変	72.7	63.6	63.6	45.5	90.0	90.9	45.5	63.6	54.5	63.6	72.7	90.0	90.9
	やや悪い	0.0												
	悪い・悪化	0.0	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0
	判断指数	22.7	18.2	36.4	18.2	10.0	9.1	▲ 54.5	18.2	27.3	18.2	9.1	10.0	9.1
一般サービス	良い・好転	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや良い	0.0												
	普通・不変	66.7	66.7	75.0	58.3	70.0	60.0	66.7	75.0	50.0	58.3	66.7	70.0	60.0
	やや悪い	25.0												
	悪い・悪化	8.3	33.3	25.0	33.3	30.0	40.0	25.0	25.0	41.7	41.7	33.3	30.0	40.0
	判断指数	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 30.0	▲ 40.0
サービス業合計	良い・好転	8.7	12.5	20.8	20.8	5.0	4.8	4.2	12.5	20.8	12.5	8.3	5.0	4.8
	やや良い	4.3												
	普通・不変	69.6	66.7	66.7	54.2	80.0	76.2	58.3	70.8	54.2	58.3	70.8	80.0	76.2
	やや悪い	13.0												
	悪い・悪化	4.3	20.8	12.5	25.0	15.0	19.0	37.5	16.7	25.0	29.2	20.8	15.0	19.0
	判断指数	0.0	▲ 8.3	8.3	▲ 4.2	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 14.3